

2 グローバル教育センター

グローバル教育センターについて

インターンシップ科目

グローバル・コンピテンシー・プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型プログラム

SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

グローバル教育
センターについて

インターン
シップ
科目

グローバル・
コンピ
テンシー・
プログラム

データサイ
エンス
プログラム

海外
短期
研修

実践
型
プログラム

SUMMER
SESSION
IN
EAST
ASIAN
STUDIES
AND
JAPANESE
LANGUAGE

グローバル教育センターについて

グローバル教育センターは、全学生を対象に、グローバル社会に対応する多様な科目や海外勉学の機会を提供しています。グローバル社会で活躍するためには、高度な専門性、外国語運用能力だけでなく、幅広く高度な教養の修得が欠かせません。

グローバル教育センターが実施する科目やプログラムは、主に以下のように分類されます。これからグローバル化が加速する社会に生きていく皆さんには、これらの機会を大いに活用してほしいと願っています。

① 講義科目（全学共通科目）

国際関係、国際協力、教育、ビジネス、メディア、環境など、幅広い分野で講義科目を開講しています。高度な教養を身に付けるだけでなく、自分の専門分野の学習をさらに深めるため、あるいは学際的な学びへと発展させるために、積極的な履修を期待しています。2019年度、当センターは約100科目の全学共通科目を開講しますが、そのうち約20科目が英語による科目です。履修に際し必要となる英語力のレベルは、科目によって異なりますが、英語力向上や留学準備、留学後や卒業後のキャリア検討のため、英語科目にもチャレンジしてみてください。

② インターンシップ科目（全学共通科目）

本学と協定を結んだ企業、国際機関、団体などでインターンシップ（就業体験）をすることで全学共通科目の単位が付与されます。インターンシップは、夏期・春期休業中に2～6週間実施する短期型と、学期中に2～5ヵ月間で実施をする中期型・長期型があります。【p.50～を参照】

③ グローバル・コンピテンシー・プログラム（13年次生以降対象・学部横断型プログラム）

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」の4コースがあり、グローバル化対応能力を養うための実践的で高度な教養教育プログラムです。【p.52～を参照】

※「グローバル・ビジネス」コースは、2020年度以降は新規履修者の募集は行いません。

④ データサイエンスプログラム（全学共通科目）

グローバル社会で必要な素養であるデータ分析力や情報活用力を身に付けることを目指すプログラムです。【p.92～を参照】

⑤ 海外短期語学講座

夏期・春期休業中の3～5週間、本学の交換留学協定校等が主催する語学プログラムに参加します。所定の成果を修めた者には、当該言語科目の単位が付与されます。言語教育研究センター開講科目ですが、グローバル教育センターがプログラムを運営しています。【p.153～を参照】※

⑥ 海外短期研修

夏期・春期休業中の2～6週間、本学の交換留学協定校等で実施される短期プログラムに参加し、外国語で専門科目を学びます。認定・単位数はプログラムにより異なります。本研修参加のためには一定の語学能力が求められており、語学能力を活用しながら集中的に専門科目を学びたい学生に向いています。【p.93～を参照】※

⑦ 実践型プログラム

主に夏期・春期休業中に、海外でのボランティア、体験学習などの現地研修を含むプログラムに参加し、単位を取得するプログラムです。【p.94～を参照】※

⑧ Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

本学の提携大学であるASEAN諸国4カ国の7大学との交換留学プログラムで、各大学が提供する様々な分野を1学期間、英語で学ぶことができます。また、ASEANからの留学生と共に、SAIMSプログラム科目を履修します。【p.96を参照】※

⑨ Sophia-Nanzan Latin America Program (LAP)

本学が南山大学及び上智大学短期大学部と連携して実施する中南米6カ国13大学への交換留学プログラムです。相手国の言語や文化の修得のみならず、インターンシップ、短期プログラムなどによる多層的な学生交流プログラムです。【p.94を参照】※

⑩ 交換留学

本学が協定を結んでいる交換留学協定校(59ヵ国321校:2020年3月現在)へ1学期～1年間留学するプログラムです。※

⑪ Summer Session in East Asian Studies and Japanese Language

6月と7月に海外の大学生等を対象に日本およびアジアの社会、政治、経済、芸術、言語に関わる講義を英語で提供するサマーセッションを開講しています。留学生向けのプログラムですが、本学の学生も履修可能です。【p.98を参照】

※⑤～⑩のプログラム詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」も参照してください。

グローバル教育センターについて
科目 インターンシップ
目次 グローバル・コンピテンス！プログラム
プログラムの データサイエンス
海外短期研修
実践型
SUMMER SESSION EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

インターンシップ科目

本学と協定を結んだ実習先（グローバル企業、国際機関の日本代表部、国際協力団体、報道機関など）でインターンシップ（就業体験）をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目（選択科目）の単位が付与されます。就業・実務経験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気づきを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められる科目です。

インターンシップ科目の履修にあたっては、別途説明会・選抜を行います。説明会・募集情報は、Loyolaの「グローバル教育センター（インターンシップ科目）」掲示板で発表します。最新の情報はグローバル教育センター窓口（2号館1階）で確認してください。

1. 科目の種類と実習先一覧

科目名（単位数）	学期（実習期間）	予定実習先（年度・学期により募集がない場合あり）※は海外での実習	
経済同友会連携 インターンシップ (2単位)	春学期 (8・9月 2～4週間) 秋学期 (2・3月 2～4週間) 【対象学年：2年生】	<ul style="list-style-type: none"> 三井住友銀行 全日本空輸 損保ジャパン日本興亜 第一生命保険 日本航空 コマツ 三井不動産 KDDI 住友林業 	
グローバル インターンシップ（短期） (2単位)	春学期 (8・9月 2～6週間) 秋学期 (2・3月 2～6週間) 【対象学年：2年生以上】	グローバルビジネス 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン ・エーオンホールディングスジャパン ・SBIホールディングス (上海/北京/シンガポール) ※ ・オンワード樫山 ・パソナ ・リコー ・日本アイ・ピー・エム ・ジオメトリー・オグルヴィ・ジャパン
		国際協力分野	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ開発銀行 (AFDB) ・国際協力機構 (JICA) ・国際通貨研究所 ・国連開発計画 (UNDP) ・国連食糧農業機関 (FAO) ・南洋貿易
		グローバル・メディア 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・共同通信社 ニューヨーク支局 / ワシントン支局※ ・トムソンロイター ニューヨーク※ ・日本経済新聞社 ・フォーリン・プレスセンター
		グローバル・ポリティクス 分野	<ul style="list-style-type: none"> ・駐日ブルキナファソ大使館 ・駐日マラウイ共和国大使館 ・日米研究インスティテュート ワシントン D.C.本部※ ・インスティトゥット・セルバンテス東京 ・アンステイチュ・フランセ日本
ボルボ・グループ インターンシップ (2単位) -A Door to a World Leader in Sustainable Transport Solutions-	春学期 (8・9月 3～4週間) 【対象学年：2年生以上】	・ボルボ・グループ UDトラックス	
グローバル インターンシップ（長期） (6単位)	春学期・秋学期 (3～5ヶ月) 【対象学年：3年生以上】	<ul style="list-style-type: none"> ・智利三菱商事※ ・ボルボグループ（スウェーデン、米国、フランス、インド等）※ ・日本貿易振興機構 (JETRO) ・日本ユネスコ協会連盟 ・難民自立支援ネットワーク (REN) ・国際協力推進協会 (APIC) ・ACE (エース) 	
グローバル インターンシップ（中期） (6単位)	2Q (6～9月 2～4ヶ月) 【対象学年：3年生以上】	・国際協力推進協会 (APIC)	

2. 履修にあたっての注意事項

- ・実習先により、実施時期、対象学年、申込要件が異なります。詳細は、Loyolaの「グローバル教育センター（インターンシップ科目）」掲示板に掲載される「履修申込要項」を十分に確認してください。
- ・インターンシップ科目は選抜によって履修者を決定し、通常の履修登録期間とは異なる時期に履修登録を行います。派遣が決定した時点で、該当学期及びその後の履修について、必ず学事センターに相談してください。
- ・実習先によっては、前年度、もしくは前の学期に募集・選抜を実施します。募集情報は、Loyolaの「グローバル教育センター（インターンシップ科目）」掲示板に掲載しますので、早めに確認するようにしてください。
- ・成績評価は、“P”（合格）もしくは“X”（不合格）のいずれかとなります。“P”、“X”で表記される成績については、GPAの計算に含まれません。
- ・「インターンシップ科目」は、履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。
- ・「インターンシップ科目」履修学期をもって卒業見込の学生は、参加は可能ですが単位は付与されません。
- ・2019年度以前に入学した国際教養学部 of 学生は参加するインターンシップ科目の単位数分の学費がかかります。学費の請求は履修登録の処理が終わってからになります。

グローバル教育センターについて	インターンシップ科目	グローバル・シビリティプログラム	データサイエンスプログラム	海外短期研修	実践型	SMU 2021-22 Academic Year
-----------------	------------	------------------	---------------	--------	-----	---------------------------

グローバル・コンピテンシー・プログラム

1. グローバル・コンピテンシー・プログラムとは

本プログラムは、自身の利益のためではなく、地球的な視野に立ち、世界の平和、人権擁護など、弱者への想いを常に心がける「他者のために、他者とともに」という本学の教育理念を体現する社会のリーダーを数多く輩出することを目的としている。高度な外国語能力とコミュニケーション能力を備え、幅広い人間性と高い倫理感に裏打ちされたグローバル・コンピテンシー＝グローバル化対応能力を発揮するための実践的、実務的な教養教育プログラムである。学科科目で専門性を身につけながら、さらに高度な教養教育プログラムを求める者を対象とする。

2. 4つの開設コース

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」の4コース。

全学共通科目、学科科目から各プログラムで指定された科目を履修し、所定の単位を修得することで、そのコースの履修証明書が付与される。

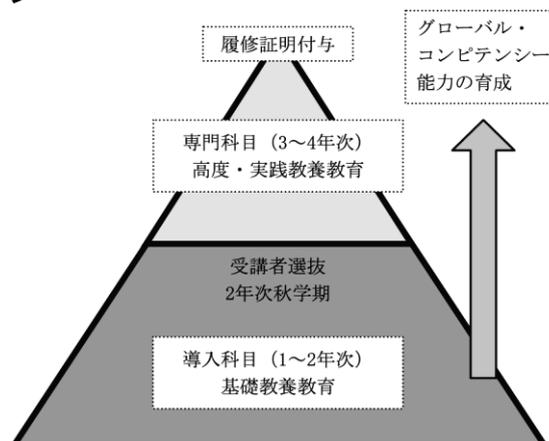
※「グローバル・ビジネス」コースは、2019年度を以って新規履修者の募集を終了した。

3. 受講対象者

2013年度以降に1年次として入学した学生が対象。

*本プログラム参加希望者は、原則として申込時までに導入科目を履修し、修得することが必要である。

4. プログラム履修イメージ



5. 受講者申込・選抜

(1) 申込条件

- ①各コースが定める指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること *注1
- ②申込時に全科目のGPAが、各コースが定める基準値以上であること *注2
- ③申込時に各コースが定める必要な外国語要件を満たしていること

*注1 導入科目未履修の場合でも、申込後に必ず履修することを条件として申込を認める。

*注2 プログラムの具体的な基準値、語学要件については各コースの概要参照。

(2) 申込時期（11月以降を予定）

1年次秋学期

(3) 申込に必要な書類

- ①プログラム履修願（所定フォーム）
- ②各コースの志望動機エッセイ（字数制限あり）
- ③最新の成績通知書（GPAが記載されたもの）
- ④語学能力を証明する書類（スコアについてはコピーでも可）

(4) 選抜方法

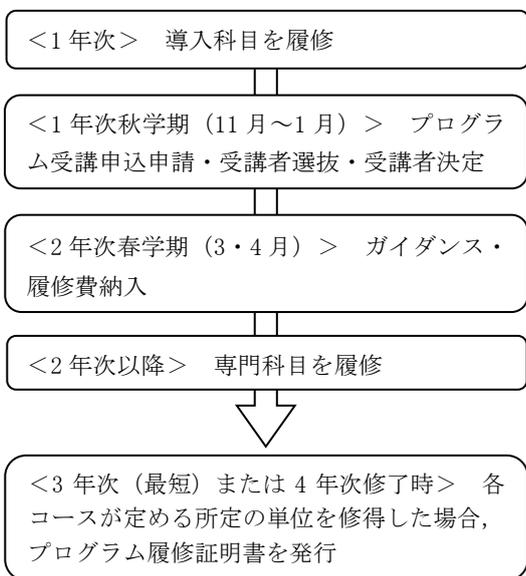
- ①書類審査（エッセイ含む）
- ②面接（各コースコーディネーター教員などによる面接を行う場合もある）

(5) 受講手続きについて

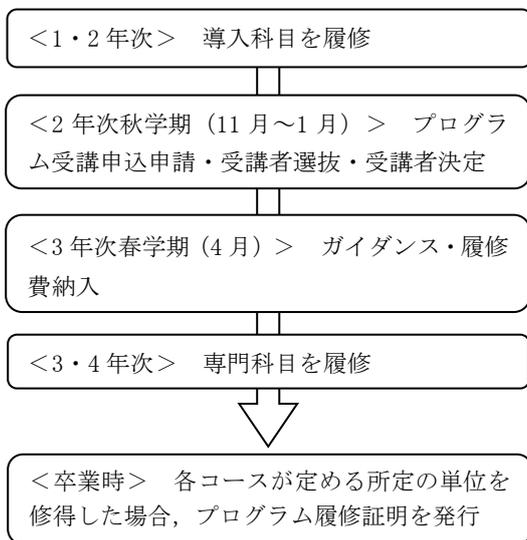
正式にプログラム受講が確定した後、プログラム履修費として、24,000円を納入すること。

6. プログラム履修の流れ

17年次生以降



16年次生以前



7. プログラム受講・履修上の注意

- ・専門科目のうち、オリジナル科目（GCP生のみが履修可能な科目）については卒業に必要な単位とはならないので注意すること。各コースのオリジナル科目については各コース概要参照。
- ・専門科目のうちオリジナル科目については、プログラム受講者全員の学科必修科目等との時間割重複を避けるため、6限や土曜日、休業中の集中講義などの時間帯で実施する場合があるので注意すること。
- ・導入科目の中には抽選科目も含まれるが、プログラム受講希望者が優先的に当選するわけではないので、この点も注意して履修計画を立てること。
- ・国際教養学部開講科目を履修するためには、別途語学要件が定められている。詳細は履修要覧〔ガイド・資料編〕p.32を参照のこと。
- ・1人で複数のコースの受講はできない。
- ・各コースの実践活動（インターンシップ、ボランティア等）に伴う各種経費（交通費、遠方・国外の場合に発生する期間中滞り費など）については、すべて自己負担となる。
- ・プログラムの履修中に所属学科の卒業要件を満たした場合は、卒業となる。プログラム履修のために在学継続をすることはできないので、特に途中で留学を検討している場合は履修計画を綿密にたてること。
- ・いったん納入したプログラム履修費は、いかなる理由があっても返金しないので注意すること。
- ・2019年度以前に入学した国際教養学部生については、オリジナル科目を除く履修科目の付与単位分の授業料がかかる。
- ・秋入学の学生は3セメスター目に申込可能。（プログラム修了は最短で7セメスター終了時）

8. プログラム最新情報

履修願フォーム、プログラムの最新情報などについては、Loyola「グローバル教育センター（グローバル・コンピテンシー・プログラム）掲示板」で通知するので、受講を考えている学生はこまめに確認すること。

「国際協力」コース

17年次生以降

1. コースの目的

今日の国際社会には、開発、人権、環境をはじめとする地球規模課題（Global Agenda）が山積している。こうした諸課題を解決するためには国境を越えた国際協力が不可欠であり、各国の政府機関・援助機関に加えて国際機関や国際NGOなどが果たす役割の重要性は、今後ますます高まっていく。そこで、これらの国際協力関連機関でのキャリアを目指す学生たちに対して、これからの時代の国際協力の専門家に求められる基礎的な知識・技能・経験を身につける機会を提供することが、本コースの目的である。

2. コースコーディネーター

総合人間科学部教育学科教授 小松 太郎

3. コース概要

「国際協力」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

◆ 導入科目（1年次）

	科目内容
2科目：4単位	<p>* 選択必修：2科目 (特に◆の科目を履修すること)</p> <p>国際協力について、その基本的仕組みや課題について学ぶ。</p>

		科目名	単位	開講元
導入科目	選択必修	◆グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		◆国際協力概論-日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目
		◆教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	国際教養学部
		国際政治史入門	2	全学共通科目
		国際政治学	4	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		平和学	2	神学部
		南アジア研究入門	2	全学共通科目
		中東イスラーム研究入門 I	2	全学共通科目
		東南アジア研究入門	2	全学共通科目
		アフリカ研究入門	2	全学共通科目
		ロシア・ユーラシアの国際関係 B	2	外国語学部 (ロシア語学科)

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
科目目
グローバル・コンピテンス！プログラム
データサイエンスプログラム
海外短期研修
実践型
2022年度

◆ 専門科目（2年次以降）

	科目内容
(1) 基礎理論科目 (講義による知識・ 方法論の習得) 2科目：4単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目 国際協力に携わるうえで必要となる基礎的知識（政治、経済、法律、国際関係等）および国際協力の分析方法を身につける。
(2) 実践科目 (ケーススタディ) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目 国際協力に関するケーススタディを通じ、国際協力活動の具体的な実践課程と課題を複眼的な視点から分析する力を養う。
(3) 実務スキル科目 (基礎的技能の習得と 向上) 3科目：6単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：2科目 国際協力の実践活動に必要な基礎的技能を習得する。
(4) 国際協力業務・ フィールド体験	* インターンシップ、ボランティア、スタディーツアー等 実践活動を通じて、国際協力の業務や途上国フィールド体験することが推奨される。
*国際キャリアセミナー	* 1年春休みに実施予定。必ず参加すること。 将来的に国際協力に従事することを念頭に、国際協力を仕事とすることの意味や課題、ならびにキャリアパスを考える。

			科目名	単位	開講元
専門科目	基礎理論科目	必修 選択	国際協力基礎理論	2	グローバル教育センター
			保健統計学	2	看護学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			国際経済学 1	2	総合グローバル学部
			国際経済学 2	2	総合グローバル学部
			国連の役割と機能（国連集中研修）	2	全学共通科目
			国際法各論	2	法学部
			国際紛争処理法	2	法学部
			地理的境界と人々の暮らし	2	全学共通科目
			SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	全学共通科目
	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	全学共通科目		
	実践科目	必修 選択	国際協力事例研究	2	グローバル教育センター
			市民が関わる国際協力	2	外国語学部
			市民社会・国際協力論概説	2	外国語学部
			国際看護学概論	2	看護学科
			国際教育開発論 1	2	総合グローバル学部
			国際教育開発論 2	2	総合グローバル学部
			異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
			ブラジル社会開発協力	2	外国語学部 (ポルトガル語学科)
			実務スキル科目	必修 選択	国際協力プロジェクト・マネジメント
	統計学 1	2			総合グローバル学部
	統計学 2	2			総合グローバル学部
	社会統計学-国際的な統計データの解釈-	2			全学共通科目
	実践英語ライティング-PRACTICAL ENGLISH WRITING-	2			全学共通科目
	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ	2			言語教育研究センター (語学科目)
	INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ	2			言語教育研究センター (語学科目)
	ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ	1			言語教育研究センター (語学科目)
	ACADEMIC WRITING ※科目ナンバリング「ENG200 番台」の科目のみ	1			言語教育研究センター (語学科目)

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
科目目
グローバル・コンピテンシープログラム
データサイエンスプログラム
海外短期研修
実践プログラム型
SEMESTER 2
PRACTICAL ENGLISH WRITING

4. 「国際協力」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20030	ICP205-02j00	国際協力基礎理論	2	春	コーディネータ 小松太郎		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可, 輪講
	GCP30010	ICP301-02e00	国際協力事例研究	2	秋	小松太郎	○	GCP (国際協力) 履修者のみ受講可
	GCP30020	ICP302-02j00	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	2Q	*杉山竜一 *笠井千賀子		GCP (国際協力) 履修者のみ受講可, 夏期集中講義

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・国際協力に携わるうえで必要な語学力。英語はもとより、特に国際機関での勤務を志望する者は早い段階からの国連公用語を中心とする他の外国語の習得が望ましい。
- ・複眼的思考力や課題解決力に基づいた時事問題に対する分析手法。
- ・現在の国際問題を考えるうえで前提となる世界史の基礎知識。

6. 申込条件

- ・指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること。ただし、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーした者が落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、1年次秋学期に当該科目がある場合には必ず抽選エントリー、履修したうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合はプログラム受講資格取消となる。）
- ・直近の春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア* テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TOEIC	660点以上	
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中, またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

「国際協力」コース

16年次生以前

1. コースの目的

今日の国際社会には、開発、人権、環境をはじめとする地球規模課題（Global Agenda）が山積している。こうした諸課題を解決するためには国境を越えた国際協力が不可欠であり、各国の政府機関・援助機関に加えて国際機関や国際NGOなどが果たす役割の重要性は、今後ますます高まっていく。そこで、これらの国際協力関連機関でのキャリアを目指す学生たちに対して、これからの時代の国際協力の専門家に求められる基礎的な知識・技能・経験を身につける機会を提供することが、本コースの目的である。

2. コースコーディネーター

総合人間科学部教育学科教授 小松 太郎

3. コース概要

「国際協力」コース修了に必要な合計科目・単位数は12科目・24単位以上です。

◆ 導入科目（1～2年次）

科目・単位数	内容
4科目：8～12単位	国際協力について、その基本的仕組みや課題について学ぶ。 *選択必修科目：2科目 「グローバル化と国際貢献」、「国際協力概論」、「教養としてのインテリジェンス」 *選択科目：2科目 指定科目は「国際関係」「国際協力」「地域研究」にカテゴリ分けされている。 異なるカテゴリから1科目ずつ修得すること。

		科目名	単 位	開講元	
導入科目	選択必修	グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目	
		国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目	
		教養としてのインテリジェンス -国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目	
	選択	国際関係	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	国際教養学部
			INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
			国際政治史入門	2	全学共通科目
			国際政治学	4	法学部
		国際協力	グローバル・コンサーンと平和の促進（2020年度は休講）	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
			国際サービスラーニング論	2	全学共通科目
			ボランティア論	2	神学部
			平和学	2	神学部
			国際法総論	4	法学部
			開発経済学	4	総合グローバル学部
			グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部
CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
科目
目
グローバル・コンピテ
ンシープログラム
データサイエンス
プログラム
海外短期研修
実践型
プログラム
2024年度-2
2025年度-2
2026年度-2
2027年度-2
2028年度-2

			科目名	単位	開講元
導入科目	選択	地域研究	南アジア研究入門	2	全学共通科目
			民族関係論	2	神学部
			中東イスラーム研究入門Ⅰ	2	全学共通科目
			中東イスラーム研究入門Ⅱ	2	全学共通科目
			東南アジア研究入門	2	全学共通科目
			アフリカ研究入門	2	全学共通科目
			アフリカと開発：2030アジェンダと持続可能な社会づくり	2	全学共通科目
			ロシア・ユーラシアの国際関係 B	2	外国語学部 (ロシア語学科)

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆ 専門科目 (3～4年次)

科目・単位数	内容
(1)基礎理論科目 (講義による知識・ 方法論の習得) 2科目：4単位	*必修科目：1科目，選択科目：1科目 国際協力に携わるうえで必要となる基礎的知識（政治，経済，法律，国際関係等）および国際協力の分析方法を身につける。
(2)実践科目 (ケーススタディ) 3科目：6単位	*必修科目：1科目，選択科目：2科目 国際協力に関するケーススタディを通じ，国際協力活動の具体的な実践課程と課題を複眼的な視点から分析する力を養う。
(3)実務スキル科目 (基礎的技能の習得と向上) 3科目：6単位	*必修科目：1科目，選択科目：2科目 国際協力の実践活動に必要な基礎的スキルを習得する。
(4)国際協力業務・ フィールド体験	*インターンシップ，ボランティア，スタディーツアー等を通じて国際協力の業務や途上国フィールド体験することが推奨される。
国際キャリアセミナー	*将来的に国際協力に従事することを念頭に，国際協力を仕事とすることの意味や課題，ならびにキャリアパスを考える。 (2年春休みに実施予定。国際協力コース参加者は必ず参加すること)

			科目名	単位	開講元
専門科目	基礎理論科目	必修	国際協力基礎理論	2	グローバル教育センター
		選択	保健統計学	2	看護学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			国際経済学1	2	総合グローバル学部
			国際経済学2	2	総合グローバル学部
			国連の役割と機能（国連集中研修）	2	グローバル教育センター
			国際法各論	2	法学部
			国際紛争処理法	2	法学部
			地理的境界と人々の暮らし	2	全学共通科目
			SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	全学共通科目
	INTERNATIONAL POLITICS AND PEACEBUILDING 2	2	全学共通科目		
	実践科目	必修	国際協力事例研究	2	グローバル教育センター
		選択	市民が関わる国際協力	2	外国語学部
			市民社会・国際協力論概説	2	外国語学部
			国際看護学概論	2	看護学科
			国際教育開発論1	2	総合グローバル学部
			国際教育開発論2	2	総合グローバル学部
			異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
			ブラジル社会開発協力	2	外国語学部 (ポルトガル語学科)
			実務スキル科目	必修	国際協力プロジェクト・マネジメント
	選択	統計学1		2	総合グローバル学部
		統計学2		2	総合グローバル学部
		社会統計学-国際的な統計データの解釈-		2	全学共通科目
		実践英語ライティング-PRACTICAL ENGLISH WRITING-		2	全学共通科目
		INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH A ※科目ナンバリング「ENG200番台」の科目のみ		2	言語教育研究センター (語学科目)
		INTERNATIONAL RELATIONS IN ENGLISH B ※科目ナンバリング「ENG200番台」の科目のみ		2	言語教育研究センター (語学科目)
		ENGLISH FOR NEGOTIATIONS ※科目ナンバリング「ENG200番台」の科目のみ		1	言語教育研究センター (語学科目)
	ACADEMIC WRITING ※科目ナンバリング「ENG200番台」の科目のみ	1	言語教育研究センター (語学科目)		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「国際協力」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20030	ICP205-02j00	国際協力基礎理論	2	春	コーディネータ 小松太郎		GCP（国際協力）履修者のみ受講可，輪講
	GCP30010	ICP301-02e00	国際協力事例研究	2	秋	小松太郎	○	GCP（国際協力）履修者のみ受講可
	GCP30020	ICP302-02j00	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	2Q	*杉山竜一 *笠井千賀子		GCP（国際協力）履修者のみ受講可，夏期集中講義

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

グローバル教育センターについて
目
グローバル・コンピテ
ンシープログラム
データサイエンス
プログラム
海外短期研修
実践型
SEMESTER-
BASED
LEARNING

「グローバル・ビジネス」コース

17年次生以降

新規履修者の募集は行いません。

1. コースの目的

近年、ビジネスを取り巻く環境はグローバル化の程度を高めており、もはや一国のみに閉じた経済・経営活動は成立が困難になってきている。グローバル化によって、ビジネスの多様性と不確実性は一層高まっている。異なった価値観をもつ顧客やビジネス・パートナーを理解し、変化の早い流動的な状況で重要な決断を迫られる局面が今後ますます増加していく。本コースでは、多様性・不確実性が高いグローバルなビジネス環境において重要な役割を果たし、社会に貢献していくための基盤となる能力を養うために、多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、問題解決のガイドとなる経済・経営の諸理論・コンセプトを学習・習得する機会を提供することを目的としている。

2. コースコーディネーター

経済学部経営学科准教授 関 廷媛

3. コース概要

「グローバル・ビジネス」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

	科目内容
2科目：4～6単位	<経済学部生以外> * 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目 全学共通科目および全学科目として指定されている国際教養学部開講のIBE科目から選択する。
	<経済学部生> * 必修科目：1科目 * 選択科目：1科目 全学共通科目および経済学科・経営学科のB群指定科目から選択する。

<経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元
導入科目	必修	経営学入門	2	全学共通科目
		選択	経営学系	
	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目	
	企業と社会	2	全学共通科目	
	経営社会と人間の行動	2	全学共通科目	
	マーケティング入門	2	全学共通科目	
	簿記入門	2	全学共通科目	
	会計学入門	2	全学共通科目	
	経済学系			
	INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	全学共通科目	
	教養としての経済知識	2	全学共通科目	
	経済と環境	2	全学共通科目	
	経済学	2	全学共通科目	
	IBE科目			
PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	国際教養学部		
PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

		科目名	単位	開講元		
導入科目	必修	経営学概論Ⅱ	2	経営学科		
		経営学総論	2	経済学科		
	選択	経営学系	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目	
			経営戦略論Ⅰ	2	経営学科	
			経営戦略論Ⅱ	2	経営学科	
			経営組織論Ⅰ	2	経営学科	
			経営組織論Ⅱ	2	経営学科	
			マーケティング戦略論Ⅰ	2	経営学科	
			マーケティング戦略論Ⅱ	2	経営学科	
			簿記会計学入門Ⅰ	2	経営学科	
			簿記会計学入門Ⅱ	2	経営学科	
			原価計算論Ⅰ	2	経営学科	
			原価計算論Ⅱ	2	経営学科	
			経済学系	ミクロ経済学B	2	経済学科
				ミクロ経済学C	2	経済学科
				経済発展論	2	経済学科
	CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2		経済学科		
	TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2		経済学科		
	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2		経済学科		
	企業経済論Ⅰ	2		経営学科		
企業経済論Ⅱ	2	経営学科				
消費者行動論	2	経営学科				
財務諸表論Ⅰ	2	経営学科				
財務諸表論Ⅱ	2	経営学科				
管理会計論Ⅰ	2	経営学科				
管理会計論Ⅱ	2	経営学科				

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて

科目 インターンシップ

目 グローバル・コンピテンシープログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型

SEMESTER-ON-DEMAND

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	科目内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
(1)応用科目（講義） 4科目：8単位	* 必修科目：1科目 * 選択科目：3科目 経済学・経営学のうちグローバル・ビジネスに関連する学科科目
(2)実践科目（演習） 4科目：8単位	* 選択必修科目：2科目 * 選択科目：2科目 ビジネス実務に関する実践的能力・スキルを養う科目
(3)グローバル・ビジネス実践	* インターンシップ等を通じて、グローバルビジネスの現場を体験することが推奨される。

<経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元		
専門科目	応用 (講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター	
		選択	国際経済史	2	経済学科	
			GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科	
			TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2	経済学科	
			GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科	
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科	
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科	
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科	
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科	
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科	
			英文会計	2	経営学科	
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科	
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科	
			国際マクロ経済学	4	経済学科	
			アジア開発経済論	2	経済学科	
			アジア経済成長論	2	経済学科	
			特別講義（開発援助論）	2	経済学科	
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部	
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部	
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部	
		グローバル化と経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部		
		グローバル化と経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
		国際経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部		
		国際経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
		開発経済学	4	総合グローバル学部		
		グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
		アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
		実践 (演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	グローバル教育センター	
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター	
		選択	経営英語（BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY）	2	経営学科	
			経営英語Ⅰ	2	経営学科	
			経営英語Ⅱ	2	経営学科	
		経営英語（INTERNATIONAL BUSINESS）	2	経営学科		
		グローバル・ビジネスのフロンティア	2	全学共通科目		
		HOSPITAL BUSINESS IN ASIA	2	全学共通科目		
		GENERAL MANAGEMENT IN ACTION	2	全学共通科目		
		CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS	2	経営学科		
		経済英語Ⅰ（INTERMEDIATE）	2	経済学科		
		経済英語Ⅱ（INTERMEDIATE）	2	経済学科		
		経済英語Ⅰ（SPECIALIZED）	2	経済学科		
		経済英語Ⅱ（SPECIALIZED）	2	経済学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

			科目名	単位	開講元
専門科目	応用 (講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター
		選択	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			国際経済史	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			英文会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			国際マクロ経済学	4	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義 (開発援助論)	2	経済学科
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部
			グローバル化と経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部
			グローバル化と経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部
	国際経済学Ⅰ		2	総合グローバル学部	
	国際経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践 (演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語 (BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)	2	経営学科
			経営英語Ⅰ	2	経営学科
			経営英語Ⅱ	2	経営学科
			経営英語 (INTERNATIONAL BUSINESS)	2	経営学科
			グローバル・ビジネスのフロンティア	2	全学共通科目
HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA			2	全学共通科目	
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			2	経営学科	
経済英語Ⅰ (INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅱ (INTERMEDIATE)			2	経済学科	
経済英語Ⅰ (SPECIALIZED)	2	経済学科			
経済英語Ⅱ (SPECIALIZED)	2	経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナシッ
 目 グローバル・コンピテ
 シー！プログラム
 データサイエンス
 プログラム
 海外短期研修
 実践型
 実務型
 演習型
 実務型

4. 「グローバル・ビジネス」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
自由 科目	GCP20020	MAN203-02j00	グローバルビジネス基礎セミナー	2	春	関 延 媛		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ 受講可
	GCP30030	MAN303-02j00	グローバルビジネス応用セミナーⅠ： 事例分析	2	春	*田 口 力		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ 受講可
	GCP30040	MAN304-02j00	グローバルビジネス応用セミナーⅡ： データ分析	2	秋	*西 原 文 乃		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ 受講可
	GCP30050	MAN305-02e00	グローバルビジネス応用セミナーⅢ： 英語で学ぶ経営学	2	秋	*GASPARI Paul	○	GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ 受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・不確実で複雑な環境下で高い成果を達成しようとする気概。
- ・未知の状況を解明しようとする，知的好奇心。
- ・多様な人々の，異なった価値観や考え方を受け入れ，チームとして仕事を進めていける柔軟性。
- ・言語や文化を異にする人々とも共感し，理解し合えるコミュニケーション能力。

「グローバル・ビジネス」コース

16年次生以前

1. コースの目的

近年、ビジネスを取り巻く環境はグローバル化の程度を高めており、もはや一国のみに閉じた経済・経営活動は成立が困難になってきている。グローバル化によって、ビジネスの多様性と不確実性は一層高まっている。異なった価値観をもつ顧客やビジネス・パートナーを理解し、変化の早い流動的な状況で重要な決断を迫られる局面が今後ますます増加していく。本コースでは、多様性・不確実性が高いグローバルなビジネス環境において重要な役割を果たし、社会に貢献していくための基盤となる能力を養うために、多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、問題解決のガイドとなる経済・経営の諸理論・コンセプトを学習・習得する機会を提供することを目的としている。

2. コースコーディネーター

経済学部経営学科准教授 関 廷媛

3. コース概要

「グローバル・ビジネス」コース修了に必要な合計科目・単位数は11～13科目・26単位以上です。

◆導入科目（1～2年次）

科目・単位数	内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
3～5科目：10単位	<経済学部生以外> *必修科目：1科目 *選択科目：3～4科目 全学共通科目（経団連開講の基礎科目含む）および全学共通科目として指定されているFLA開講のIBE科目から選択する。
	<経済学部生> *必修科目：1科目 *選択科目：3～4科目 全学共通科目（経団連開講の基礎科目）および経済学科・経営学科のB群指定科目から選択する。

<経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元	
導入科目	必修	経営学入門	2	全学共通科目	
		選択	経営学系	グローバル・ビジネスの現状と課題	2
	企業と社会	2	全学共通科目		
	経営社会と人間の行動	2	全学共通科目		
	マーケティング入門	2	全学共通科目		
	簿記入門	2	全学共通科目		
	会計学入門	2	全学共通科目		
	経済学系	INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	全学共通科目	
	教養としての経済知識	2	全学共通科目		
	経済と環境	2	全学共通科目		
	経済学	2	全学共通科目		
	IBE科目	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	国際教養学部	
	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目目
 インターンシップ
 グローバル・コンピテンシー！プログラム
 データサイエンスプログラム
 海外短期研修
 実践型
 2022-2023年度

<経済学部生>

		科目名	単 位	開講元		
導入科目	必修	経営学概論Ⅱ	2	経営学科		
		経営学総論	2	経済学科		
	選択	経営学系	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目	
			経営戦略論Ⅰ	2	経営学科	
			経営戦略論Ⅱ	2	経営学科	
			経営組織論Ⅰ	2	経営学科	
			経営組織論Ⅱ	2	経営学科	
			マーケティング戦略論Ⅰ	2	経営学科	
			マーケティング戦略論Ⅱ	2	経営学科	
			簿記会計学入門Ⅰ	2	経営学科	
			簿記会計学入門Ⅱ	2	経営学科	
			原価計算論Ⅰ	2	経営学科	
			原価計算論Ⅱ	2	経営学科	
			経済学系	ミクロ経済学B	2	経済学科
				ミクロ経済学C	2	経済学科
				経済発展論	2	経済学科
	CONTEMPORARY ISSUES IN INTERNATIONAL DEVELOPMENT	2		経済学科		
	TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2		経済学科		
	GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2		経済学科		
	企業経済論Ⅰ	2		経営学科		
	企業経済論Ⅱ	2		経営学科		
	消費者行動論	2		経営学科		
	財務諸表論Ⅰ	2		経営学科		
	財務諸表論Ⅱ	2		経営学科		
	管理会計論Ⅰ	2		経営学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目 (3～4年次)

科目・単位数	科目内容<経済学部生以外・経済学部生で指定科目が異なる>
(1)応用科目 (講義) 4科目：8単位	*必修科目：1科目，選択科目：3科目 経済学・経営学のうちグローバル・ビジネスに関連する学科科目
(2)実践科目 (演習) 4科目：8単位	*選択必修科目：2科目，選択2科目 ビジネス実務に関する実践的能力・スキルを養う科目
(3)グローバル・ビジネス実践	*インターンシップ等を通じて、グローバルビジネスの現場を体験することが推奨される。

<経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元	
専門科目	応用 (講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター
		選択	国際経済史	2	経済学科
			GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科
			TALES OF ECONOMIC GLOBALIZATION	2	経済学科
			GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科
			英文会計	2	経営学科
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科
			国際マクロ経済学	4	経済学科
			アジア開発経済論	2	経済学科
			アジア経済成長論	2	経済学科
			特別講義（開発援助論）	2	経済学科
	INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部		
	INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部		
	INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部		
	グローバル化と経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部		
	グローバル化と経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
	国際経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部		
	国際経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
	開発経済学	4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
	実践 (演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	グローバル教育センター
			グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター
		選択	経営英語（BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY）	2	経営学科
			経営英語Ⅰ	2	経営学科
			経営英語Ⅱ	2	経営学科
経営英語（INTERNATIONAL BUSINESS）			2	経営学科	
グローバル・ビジネスのフロンティア			2	全学共通科目	
HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA			2	全学共通科目	
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION			2	全学共通科目	
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS			2	経営学科	
経済英語Ⅰ（INTERMEDIATE）			2	経済学科	
経済英語Ⅱ（INTERMEDIATE）			2	経済学科	
経済英語Ⅰ（SPECIALIZED）			2	経済学科	
経済英語Ⅱ（SPECIALIZED）			2	経済学科	

グローバル教育センターについて

科目目

インターンシップ

グローバル・コンピテンス！プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型

SEMESTER 2
ECONOMICS
ECONOMICS
ECONOMICS

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

<経済学部生>

			科目名	単位	開講元		
専門科目	応用 (講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター		
		選択	GLOBAL ECONOMIC HISTORY	2	経済学科		
			国際経済史	2	経済学科		
			国際経営論Ⅰ	2	経営学科		
			国際経営論Ⅱ	2	経営学科		
			国際経営論Ⅲ	2	経営学科		
			人的資源管理論Ⅰ	2	経営学科		
			人的資源管理論Ⅱ	2	経営学科		
			英文会計	2	経営学科		
			国際貿易論Ⅰ	2	経済学科		
			国際貿易論Ⅱ	2	経済学科		
			国際マクロ経済学	4	経済学科		
			アジア開発経済論	2	経済学科		
			アジア経済成長論	2	経済学科		
			特別講義 (開発援助論)	2	経済学科		
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部		
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部		
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部		
			グローバル化と経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部		
			グローバル化と経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
			国際経済学Ⅰ	2	総合グローバル学部		
			国際経済学Ⅱ	2	総合グローバル学部		
			開発経済学	4	総合グローバル学部		
			グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部		
			アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部		
			実践 (演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	グローバル教育センター
					グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	グローバル教育センター
	グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学				2	グローバル教育センター	
	選択	経営英語 (BUSINESS COMMUNICATION STRATEGY)		2	経営学科		
		経営英語Ⅰ		2	経営学科		
		経営英語Ⅱ		2	経営学科		
		経営英語 (INTERNATIONAL BUSINESS)		2	経営学科		
		グローバル・ビジネスのフロンティア		2	全学共通科目		
HOSPITALITY BUSINESS IN ASIA		2		全学共通科目			
GENERAL MANAGEMENT IN ACTION		2		全学共通科目			
CHALLENGING FRONTLINE ISSUES IN GLOBAL BUSINESS		2		経営学科			
経済英語Ⅰ (INTERMEDIATE)		2		経済学科			
経済英語Ⅱ (INTERMEDIATE)		2		経済学科			
経済英語Ⅰ (SPECIALIZED)		2		経済学科			
経済英語Ⅱ (SPECIALIZED)		2		経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「グローバル・ビジネス」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP20020	MAN203-02j00	グローバルビジネス基礎セミナー	2	春	関 延 媛		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30030	MAN303-02j00	グローバルビジネス応用セミナーⅠ：事例分析	2	春	*田 口 力		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30040	MAN304-02j00	グローバルビジネス応用セミナーⅡ：データ分析	2	秋	*西 原文 乃		GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可
	GCP30050	MAN305-02e00	グローバルビジネス応用セミナーⅢ：英語で学ぶ経営学	2	秋	*GASPARI Paul	○	GCP (グローバル・ビジネス) 履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

グローバル教育センターについて

科目目 インターナシッ

グローバル・コンピテンシー！プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型

SEMESTER-2
EAST-OUT
EAST-OUT
EAST-OUT

「グローバル・メディア」コース

17年次生以降

1. コースの目的

人類が直面する地球規模の諸課題を直視し、解決に導いていくためには、国際社会の理解・支持と協調が肝要となる。健全なジャーナリズムの存在が民主主義の発展に不可欠であることは言うまでもないが、他方において、現代社会における国際政治経済のアクターは、戦略的な情報発信力、国際世論への喚起力なくしては、そのプレゼンスを示し得ない。特に情報通信ネットワークの発達などによる世界規模での情報化の進展により、報道現場やメディア・ビジネスの現場で国際的に活躍できるジャーナリスト、コーディネーター、国際機関やNGOなどの広報担当者など、メディア・コミュニケーションの理論と実践を理解し、的確に発信できる人材が強く求められている。本コースでは、グローバル・メディア・コミュニケーションの基礎的な知識、技能を身につけ、国際理解の促進に寄与することの意義を考える機会を提供することを目的としている。

2. コースコーディネーター

文学部新聞学科教授 音 好宏

3. コース概要

「グローバル・メディア」コース修了に必要な合計科目・単位数は10科目・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容<新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる>
2科目：4単位	<p>* 選択必修科目：2科目 (新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる)。</p> <p>* 推奨科目 必修ではないが、履修を推奨する。</p>

			科目名	単 位	開講元
導入科目	選択必修	全学 部共 通	マルチメディア情報社会論	2	全学共通科目
			グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
			教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目
	以外 新聞 学科 生	新聞 学科 生	マス・コミュニケーション論Ⅰ	2	全学共通科目
			マス・コミュニケーション論Ⅱ	2	全学共通科目
	推奨	新聞 学科 生	コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科
			憲法	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
			グローバル・コンサーンと平和の促進 (2020年度休講)	2	全学共通科目
			情報化社会と情報倫理	2	全学共通科目

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容
(1) 応用科目 (講義による知識・方法論の習得) 5科目：10単位	*必修科目：1科目 *選択必修科目：3科目以上 グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーション、グローバル・ジャーナリズムに関する専門的知識、理論、および、その現状と課題について学ぶ。
(2) 実務科目/ グローバル・メディア実践 (基礎的スキルの修得と向上) 3科目：6単位	*必修科目：1科目 *選択科目：2科目 (オリジナル科目「グローバル・メディア実践プログラム」は必修ではないが、履修を推奨する。) グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの現場での実践的知識、技能を習得する。 *社会实践活动（インターンシップ等）を通じてグローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの実務を経験する、もしくは、専門科目で得た知識、技能を生かしコンテンツ制作を行うことが推奨される。

グローバル教育センターについて
科目
目
グローバル・コミュニケーション！プログラム
データサイエンスプログラム
海外短期研修
実践型
SEMESTER 2
ELECTIVE

			科目名	単位	開講元	
専門科目	応用科目	必修	グローバル・メディア実践入門	2	グローバル教育センター	
		選択必修	国際コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科	
			国際コミュニケーション論Ⅱ	2	新聞学科	
			マス・メディア論Ⅰ	2	新聞学科	
			人間行動とマス・メディアⅠ	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅠ a	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅠ b	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅡ a	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅡ b	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅢ a (2020年度休講)	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅢ b	2	新聞学科	
			選択	ライフスタイルの社会学	2	社会学科
				ライフコースの社会学	2	社会学科
				計画と政策の社会学	2	社会学科
	格差と不平等の社会学	2		社会学科		
	メディアと情報の社会学	2		全学共通科目		
	外交政策 1	2		総合グローバル学部		
	外交政策 2	2		総合グローバル学部		
	国際政治史 1	2		総合グローバル学部		
	国際政治史 2	2		総合グローバル学部		
	グローバリゼーションと市民社会 1	2		総合グローバル学部		
	グローバリゼーションと市民社会 2	2		総合グローバル学部		
	フィールドワークの技法と実践	2		総合グローバル学部		
	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 1	2		総合グローバル学部		
	国際政治経済論 (経済学的アプローチ) 2	2	総合グローバル学部			
	国際教育開発論 1	2	総合グローバル学部			
	国際教育開発論 2	2	総合グローバル学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単 位	開講元
専 門 科 目	実 務 科 目 ／ グ ロ ー バ ル ・ メ デ ィ ア 実 践	必 修	実践メディア英語	2	グローバル教育センター
		選 択	グローバル・メディア実践プログラム	2	グローバル教育センター
			時事問題研究Ⅰ	2	新聞学科
			時事問題研究Ⅱ	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅰa(国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅰb(国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅱa(国際)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊Ⅱb(国際)	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在Ⅰ	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在Ⅱ	2	新聞学科
			メディア実践Ⅰ	2	新聞学科
			メディア実践Ⅱ	2	新聞学科
			視聴覚教育	2	課程センター

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「グローバル・メディア」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
自 由 科 目	GCP30060	JRN302-02m00	グローバル・メディア実践入門	2	春	*黄 盛 彬		GCP(グローバル・メディア)履修者のみ受講可
	GCP30070	JRN303-02e00	実践メディア英語	2	春	国 枝 智 樹	○	GCP(グローバル・メディア)履修者のみ受講可
	GCP30080	JRN304-02m00	グローバル・メディア実践プログラム(※)	2	秋	コーディネータ 音 好 宏		GCP(グローバル・メディア)履修者のみ受講可、輪講

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

(※)の科目はテレビセンターで実施するため、別途実習費が必要となる。

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件(必要な知識等)

- ・人類が直面する地球規模の課題や国際社会で発生する時事問題への強い関心。
- ・複眼的な思考力や課題発見・解決力、情報発信力、表現力を高めようとする意欲があること。
- ・グローバルなメディア・コミュニケーション、ジャーナリズムに携わる上で必要な語学力。
- ・グローバル化、情報化が進む現代社会の諸問題を考える上で前提となる近現代史の基礎知識。
- ・アーカイブス、ウェブ等から積極的に情報探索を行える情報リテラシー。

6. 申込条件

- ・指定の導入科目を履修済(もしくは履修中)であること。ただし、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、1年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず抽選エントリー、履修すること。(単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。)
- ・直近の春学期の全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア* テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TOEIC	660点以上	
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定(英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目(英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

「グローバル・メディア」コース

16年次生以前

1. コースの目的

人類が直面する地球規模の諸課題を直視し、解決に導いていくためには、国際社会の理解・支持と協調が肝要となる。健全なジャーナリズムの存在が民主主義の発展に不可欠であることは言うまでもないが、他方において、現代社会における国際政治経済のアクターは、戦略的な情報発信力、国際世論への喚起力なくしては、そのプレゼンスを示し得ない。特に情報通信ネットワークの発達などによる世界規模での情報化の進展により、報道現場やメディア・ビジネスの現場で国際的に活躍できるジャーナリスト、コーディネーター、国際機関やNGOなどの広報担当者など、メディア・コミュニケーションの理論と実践を理解し、的確に発信できる人材が強く求められている。本コースでは、グローバル・メディア・コミュニケーションの基礎的な知識、技能を身につけ、国際理解の促進に寄与することの意義を考える機会を提供することを目的としている。

2. コースコーディネーター

文学部新聞学科教授 音 好宏

3. コース概要

「グローバル・メディア」コース修了に必要な合計科目・単位数は12科目・24単位以上です。

◆導入科目（1～2年次）

科目・単位数	内容<新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる>
4科目：8～10単位	<p>*選択必修科目：2科目 指定の全学共通科目および学科科目の中から2科目を履修する</p> <p>*選択科目：2科目 指定の全学共通科目・学科科目から選択し履修する。</p>

		科目名	単 位	開講元	
導入科目	全学 部共 通	マルチメディア情報社会論	2	全学共通科目	
		グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目	
		教養としてのインテリジェンス-国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目	
	以 新 外 新 聞 学 科 生	マス・コミュニケーション論Ⅰ	2	全学共通科目	
		マス・コミュニケーション論Ⅱ	2	全学共通科目	
	新 聞 学 科 生	コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科	
		選 択	憲法	2	全学共通科目
			INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
			グローバル・コンサーンと平和の促進（2020年度休講）	2	全学共通科目
			情報化社会と情報倫理	2	全学共通科目
			国際社会学1	2	総合グローバル学部
			国際社会学2	2	総合グローバル学部
	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION		4	国際教養学部	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 インターナショナル
 グローバル・コンピテンシー・プログラム
 データサイエンス
 プログラム
 海外短期研修
 実践型
 2025年度から

◆専門科目（3～4年次）

科目・単位数	内容
(1)応用科目 (講義による知識・方法論の習得) 5科目：10単位	*指定科目：5科目 (うち選択必修から3科目以上履修すること) グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーション、グローバル・ジャーナリズムに関する専門的知識、理論、および、その現状と課題について学ぶ。
(2)実務科目 (基礎的スキルの修得と向上) 3科目：6単位	*グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの現場での実践的知識、技能を習得する。
(3)グローバル・メディア実践	*社会実践活動（インターンシップ等）を通じてグローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの実務を経験する、もしくは、専門科目で得た知識、技能を生かしコンテンツ制作を行うことが推奨される。（インターンシップ、実践活動等の参加は任意とする。） *オリジナル科目「グローバル・メディア実践プログラム」は必修ではないが、履修を推奨する。

			科目名	単位	開講元	
専門科目	応用科目	必修	グローバル・メディア実践入門	2	グローバル教育センター	
		選択必修	国際コミュニケーション論Ⅰ	2	新聞学科	
			国際コミュニケーション論Ⅱ	2	新聞学科	
			マス・メディア論Ⅰ	2	新聞学科	
			人間行動とマス・メディアⅠ	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅠ a	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅠ b	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅡ a	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅡ b	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅢ a (2020年度休講)	2	新聞学科	
			外国ジャーナリズムⅢ b	2	新聞学科	
			選択	ライフスタイルの社会学	2	社会学科
				ライフコースの社会学	2	社会学科
	計画と政策の社会学			2	社会学科	
	格差と不平等の社会学			2	社会学科	
	メディアと情報の社会学			2	全学共通科目	
	外交政策 1			2	総合グローバル学部	
	外交政策 2			2	総合グローバル学部	
	国際政治史 1			2	総合グローバル学部	
	国際政治史 2			2	総合グローバル学部	
	グローバリゼーションと市民社会 1	2		総合グローバル学部		
	グローバリゼーションと市民社会 2	2		総合グローバル学部		
	国際政治経済論（経済学的アプローチ） 1	2		総合グローバル学部		
	国際政治経済論（経済学的アプローチ） 2	2		総合グローバル学部		
	フィールドワークの技法と実践	2		総合グローバル学部		
	国際教育開発論 1	2		総合グローバル学部		
	国際教育開発論 2	2		総合グローバル学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単 位	開講元
専 門 科 目	実 務 科 目	必 修	実践メディア英語	2	グローバル教育センター
		選 択	時事問題研究 I	2	新聞学科
			時事問題研究 II	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 I a (国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 I b (国内)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 II a (国際)	2	新聞学科
			時事問題研究特殊 II b (国際)	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在 I	2	新聞学科
			ジャーナリズムの現在 II	2	新聞学科
		視聴覚教育	2	課程センター	
	グ ロ ー バ ル ・ メ デ ィ ア 実 践	選 択	グローバル・メディア実践プログラム	2	グローバル教育センター
		メディア実践 I	2	新聞学科	
		メディア実践 II	2	新聞学科	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「グローバル・メディア」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバリング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
自 由 科 目	GCP30060	JRN302-02m00	グローバル・メディア実践入門	2	春	*黄 盛 彬		GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ 受講可
	GCP30070	JRN303-02e00	実践メディア英語	2	春	国 枝 智 樹	○	GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ 受講可
	GCP30080	JRN304-02m00	グローバル・メディア実践 プログラム (※)	2	秋	コーディネータ 音 好 宏		GCP (グローバル・メディア) 履修者のみ 受講可, 輪講

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

(※) の科目はテレビセンターで実施するため、別途実習費が必要となる。

グローバル教育
センターについて

科 目

グローバル・コンピテ
ンシープログラム

データサイエンス
プログラム

海外短期研修

実践
ラ
ム型

SEMESTER
2022-2023

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース

18年次生以降

1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

2. コースコーディネーター

国際教養学部 SLATER David

3. コース概要

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース修了に必要な科目・単位数は10科目（うち英語によるもの最低2科目）・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容	備考
2科目：4単位～	<p>* 選択必修：2科目</p> <p>科目は「Global Politics」, 「Society & Culture」, 「Environment & Development」の3クラスターに分けられている。3つのクラスターのうち、異なる2つのクラスターから履修すること。</p>	1科目は英語による科目を履修することを推奨する。

	科目名	単 位	開講元
Society & Culture	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
	ジェンダーの社会学	2	社会学科
	グローバル・コンサーンと平和の促進（2020年度休講）	2	全学共通科目
	生命倫理の世界	2	全学共通科目
	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
	ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
	NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
	FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
Environment & Development	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部
	地球環境と科学技術 I	2	全学共通科目
	地球環境と科学技術 II	2	全学共通科目
	グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
	国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目
	地球環境学 I	2	全学共通科目
	地球環境学 II	2	全学共通科目
	環境問題と科学技術	2	全学共通科目

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

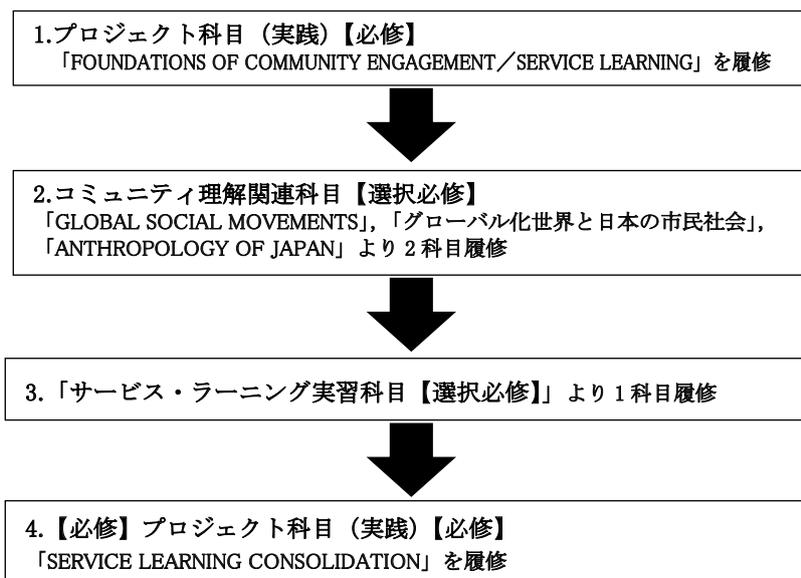
		科目名	単位	開講元
導入科目	Environment & Development	環境法入門	2	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		CONSERVATION	2	全学共通科目
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部
		HUMAN GEOGRAPHY	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容	備考
(1)コミュニティ理解関連科目 5科目：10単位～	<p>* 選択必修科目：2科目 * 選択科目：3科目</p> <p>グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ</p>	6科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)サービス・ラーニング実習科目 1科目：2単位～	<p>* 選択必修科目：1科目</p> <p>当該科目の履修を通じて、社会貢献活動を実践する。</p>	
(3)プロジェクト科目（実践） 2科目：4単位	<p>* 必修科目：2科目</p> <p>「FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/SERVICE LEARNING」で作成した計画書に基づき、 (2) 「サービス・ラーニング実習科目」を通じて社会貢献活動を実践し、「SERVICE LEARNING CONSOLIDATION」において振り返り、活動についてまとめる。</p>	

【専門科目履修順序】下記の順に履修すること。（「コミュニティ理解関連科目」の「選択科目」については、履修時期・順序を問わない。）



グローバル教育センターについて

科目 インターナショナルシップ

グローバル・コンピテンシー！プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型

ESSESS00-02-2
ESSESS00-03-2
ESSESS00-04-2
ESSESS00-05-2
ESSESS00-06-2
ESSESS00-07-2
ESSESS00-08-2
ESSESS00-09-2
ESSESS00-10-2
ESSESS00-11-2
ESSESS00-12-2

		科目名	単位	開講元
専門科目	コミュニケーション理解関連科目	選択必修	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2 グローバル教育センター
			グローバル化世界と日本の市民社会	2 グローバル教育センター
			ANTHROPOLOGY OF JAPAN: RACE, CLASS AND GENDER	4 国際教養学部
		選択	社会哲学Ⅰ (2020年度休講)	2 哲学科
		社会哲学Ⅱ (2020年度休講)	2 哲学科	
		政治哲学Ⅰ	2 哲学科	
		政治哲学Ⅱ	2 哲学科	
		教育学特殊講義Ⅱ-教育の思想-	2 教育学科	
		異文化理解と医療保健活動	2 看護学科	
		環境法総論	2 法学部	
		環境法各論	2 法学部	
		環境社会学	2 法学部	
		LEGAL WRITING	2 法学部	
		LAW AND SOCIETY	2 法学部	
		環境経済学	2 経済学科	
		ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2 経済学科	
		環境マネジメント論	2 経営学科	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単位	開講元
専門科目	コミュニケーション理解関連科目	選択	HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1 (2020年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
			HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 (英語学科)
			PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION (2020年度休講)	2	外国語学部 (英語学科)
			INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 (英語学科)
			INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	外国語学部 (英語学科)
			ヨーロッパ政治経済論 (2020年度休講)	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
			ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 (ドイツ語学科)
			ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
			ロシア・ユーラシア経済特論	2	外国語学部 (ロシア語学科)
			ラ米現代史概論	2	外国語学部 (スペイン語学科)
			ラ米政治社会特論 A (2020年度休講)	2	外国語学部 (スペイン語学科)
			ラ米政治社会特論 B	2	外国語学部 (スペイン語学科)
			NGO と社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
			アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
			アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
			民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
			イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
			特講(国際機構)B	2	総合グローバル学部
			グローバル化と文化 1	2	総合グローバル学部
			グローバル化と文化 2	2	総合グローバル学部
			WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
			RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
			NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
			JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
			POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部
			ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	4	国際教養学部
			SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部
			AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部
			NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部
			COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
			NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部
			ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
			POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部
			POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部
SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部			

グローバル教育センターについて

科目目

グローバル・コンピテンス！プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型

GLOBAL EDUCATION CENTER

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単 位	開講元
専門科目	関連科目 コミュニティ理解	選択	INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部
			国際サービスラーニング論	2	全学共通科目
			ボランティア論	2	神学部
	サービス・ラーニング実習科目	選択必修	AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			インド・サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			北部タイ・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	2	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	2	国際教養学部
			ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部
			DIGITAL ORAL NARRATIVES 1	4	国際教養学部
			INDEPENDENT ACTION: HANDS ON TOKYO (2020年度休講)	2	グローバル教育センター
	(実践) プロジェクト科目	必修	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2	グローバル教育センター
			SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	グローバル教育センター

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
自由科目	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2	春	*ROSSITTO Sarajeon		GCP (コミュニティ・エンゲージメント： サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2	秋	*ROSSITTO Sarajeon		GCP (コミュニティ・エンゲージメント： サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30100	CMF304-02m00	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2	秋	*ROSSITTO Sarajeon		GCP (コミュニティ・エンゲージメント： サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30110	CMF302-02m00	グローバル化世界と日本の 市民社会	2	春	伊藤 高章		GCP (コミュニティ・エンゲージメント： サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	春	*ROSSITTO Sarajeon		春学期集中, GCP (コミュニティ・エン ゲージメント：サービス・ラーニング) 履 修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	秋	*ROSSITTO Sarajeon		秋学期集中, GCP (コミュニティ・エン ゲージメント：サービス・ラーニング) 履 修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

5. コース受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・「弱者」に対する強い関心があり，自ら進んで社会に貢献しようとする気持ちがあること。
- ・人びとの多様性を認める姿勢があること。
- ・大きな地球の問題に立ち向かおうとする意識があること。
- ・英語を自分の武器にする，という気持ちがあること。

6. 申込条件

- ・指定の導入科目を修得済（もしくは履修中）であること。ただし，学科必修科目との時間割重複など，申込までに導入科目の履修が難しい場合は，1年次秋学期に当該科目がある場合には，必ず履修登録のうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。）
- ・直近の春学期の全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア* テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TOEIC	660点以上	
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	ACADEMIC COMMUNICATION1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中，またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナショナルシップ
 シー！プログラム
 グローバル・インビデ
 データサイエンス
 プログラム
 海外短期研修
 プログラム
 実践型
 SEMESTER-2
 INTERNATIONAL

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース

17年次生

1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

2. コースコーディネーター

国際教養学部 SLATER David

3. コース概要

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース修了に必要な科目・単位数は10科目（うち英語によるもの最低2科目）・20単位以上です。

◆導入科目（1年次）

科目・単位数	内容	備考
2科目：4単位～	<p>* 選択必修：2科目</p> <p>科目は「Global Politics」、「Society & Culture」、「Environment & Development」の3クラスターに分けられている。3つのクラスターのうち、異なる2つのクラスターから履修すること。</p>	1科目は英語による科目を履修することを推奨する。

	科目名	単位	開講元
Society & Culture	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
	ジェンダーの社会学	2	社会学科
	グローバル・コンサーンと平和の促進（2020年度休講）	2	全学共通科目
	生命倫理の世界	2	全学共通科目
	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
	ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
	NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
	FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部
	Environment & Development	地球環境と科学技術 I	2
地球環境と科学技術 II		2	全学共通科目
グローバル化と国際貢献		2	全学共通科目
国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-		2	全学共通科目
地球環境学 I		2	全学共通科目
地球環境学 II		2	全学共通科目
環境問題と科学技術		2	全学共通科目

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

		科目名	単位	開講元
導入科目	Environment & Development	環境法入門	2	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		CONSERVATION	2	全学共通科目
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部
		HUMAN GEOGRAPHY	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（2年次以降）

科目・単位数	内容	備考
(1)リテラシー科目 (知識習得) / サービス・ラーニング関連科目 6科目：12単位～	* 選択必修科目：2科目 * 選択科目：4科目 グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ	6科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)プロジェクト科目（実践） 2科目：4単位	* 必修科目：2科目 「プロジェクト・プランニング」で作成した計画書に基づき、「PRAXIS IN CIVIL SOCIETY」を通じて社会貢献プロジェクトを実践する	

		科目名	単位	開講元	
専門科目	リテラシー科目（知識習得） / サービス・ラーニング関連科目	選択必修	ANTHROPOLOGY OF JAPAN: RACE, CLASS AND GENDER	4	国際教養学部
		選択	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2	グローバル教育センター
		選択	グローバル化世界と日本の市民社会	2	グローバル教育センター
		選択	社会哲学Ⅰ（2020年度は休講）	2	哲学科
		選択	社会哲学Ⅱ（2020年度は休講）	2	哲学科
		選択	政治哲学Ⅰ	2	哲学科
		選択	政治哲学Ⅱ	2	哲学科
		選択	教育学特殊講義Ⅱ-教育の思想-	2	教育学科
		選択	異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
		選択	環境法総論	2	法学部
		選択	環境法各論	2	法学部
		選択	環境社会学	2	法学部
		選択	LEGAL WRITING	2	法学部
		選択	LAW AND SOCIETY	2	法学部
		選択	環境経済学	2	経済学科
		選択	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	経済学科
選択	環境マネジメント論	2	経営学科		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目 インターナシッ
 グローバル・コンピ
 テンシープログラム
 データサイエンス
 プログラム
 海外短期研修
 プ
 実践
 グ
 ラ
 ム
 型
 3
 2
 1
 0
 9
 8
 7
 6
 5
 4
 3
 2
 1
 0

		科目名	単位	開講元
専門科目	リテラシー科目（知識習得）／サービス・ラーニング関連科目	選択		
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1（2020年度休講）	2	外国語学部 （英語学科）
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 （英語学科）
		PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION（2020年度休講）	2	外国語学部 （英語学科）
		INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 （英語学科）
		INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	外国語学部 （英語学科）
		ヨーロッパ政治経済論（2020年度休講）	2	外国語学部 （ドイツ語学科）
		ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 （ドイツ語学科）
		ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 （ロシア語学科）
		ロシア・ユーラシア経済特論	2	外国語学部 （ロシア語学科）
		ラ米現代史概論	2	外国語学部 （スペイン語学科）
		ラ米政治社会特論 A（2020年度休講）	2	外国語学部 （スペイン語学科）
		ラ米政治社会特論 B	2	外国語学部 （スペイン語学科）
		NGO と社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
		アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
		アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
		民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
		イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
		特講(国際機構)B	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化 1	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化 2	2	総合グローバル学部
		WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
		RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
		NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
		JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
		POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部
		ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	4	国際教養学部
		SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部
		AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部
		NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部
		COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
		NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部
		ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
		POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部
POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部		
SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部		
ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部		

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

			科目名	単 位	開講元
専 門 科 目	リ テ ラ シ ー 科 目 (<small>知識習得</small>) サービス・ラーニング関連科目	選 択	INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部
		DIGITAL ORAL NARRATIVES 1	4	国際教養学部	
		HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1 (2019年度休講)	2	国際教養学部	
		HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2 (2019年度休講)	2	国際教養学部	
		国際サービスラーニング論	2	全学共通科目	
		ボランティア論	2	神学部	
		AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目	
		インド・サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目	
		北部タイ・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目	
		INDEPENDENT ACTION: HANDS ON TOKYO (2020年度休講)	2	グローバル教育センター	
	プ ロ ジ ェ ク ト 科 目 (<small>実践</small>)	必 修	FUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2	グローバル教育センター
SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	グローバル教育センター			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース オリジナル科目

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開 講 期	担 当 者	外 国 語	備 考
自 由 科 目	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2	春	*ROSSITTO Sarajejan		GCP(コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング)履修者のみ受講可
	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2	秋	*ROSSITTO Sarajejan		GCP(コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング)履修者のみ受講可
	GCP30100	CMF304-02m00	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2	秋	*ROSSITTO Sarajejan		GCP(コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング)履修者のみ受講可
	GCP30110	CMF302-02m00	グローバル化世界と日本の 市民社会	2	春	伊藤 高章		GCP(コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング)履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	春	*ROSSITTO Sarajejan		春学期集中, GCP(コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング)履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	秋	*ROSSITTO Sarajejan		秋学期集中, GCP(コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング)履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

※下記科目は同一科目のため、どちらか一方しか本コース修了に必要な単位として認められない。

科目コード	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
GCP30090	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/ SERVICE LEARNING	2019	GCP30090	プロジェクト・プランニング
GCP30100	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2019	GCP30100	CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER
GCP30120	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2019	GCP30120	PRAXIS IN CIVIL SOCIETY

グローバル教育センターについて
科目目
グローバル・コンピテンシー！プログラム
データサイエンスプログラム
海外短期研修
実践型
SEMESTER-ON-DEMAND

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース

16年次生以前

1. コースの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本コースの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このコースは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・コースである。

2. コースコーディネーター

国際教養学部 SLATER David

3. コース概要

「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース修了に必要な科目・単位数は11~12科目（うち英語によるもの最低3科目）・24単位以上です。

◆導入科目（1年次～）

科目・単位数	内容	備考
4科目：8単位～	<p>* 選択科目：4科目</p> <p>・科目は「Global Politics」, 「Society & Culture」, 「Environment & Development」の3クラスターに分けられている。プログラム修了までに各クラスターから最低1科目は履修すること。</p>	2年次秋学期の受講申込までに3科目は履修すること。うち1科目以上は英語による科目を必修とする。

	科目名	単位	開講元
Society & Culture	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部
	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部
	愛とケアの思想史（2020年度休講）	2	神学部
	ジェンダーの社会学	2	社会学科
	国際社会学 1	2	総合グローバル学部
	グローバル・コンサーンと平和の促進（2020年度休講）	2	全学共通科目
	民族関係論	2	神学部
	平和学	2	神学部
	生命倫理の世界	2	全学共通科目
	社会心理学 I（2020年度休講）	2	心理学科
	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部
	ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4	国際教養学部
	NATURE AND CULTURE	4	国際教養学部
	FUNDAMENTALS OF RELIGION	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4	国際教養学部
	INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

		科目名	単位	開講元
導入科目	Environment & Development	地球環境と科学技術 I	2	全学共通科目
		地球環境と科学技術 II	2	全学共通科目
		グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目
		アフリカと開発：2030 アジェンダと持続可能な社会づくり	2	全学共通科目
		開発経済学	4	総合グローバル学部
		開発の社会学（2019 年度休講）	2	社会学科
		地球環境学 I	2	全学共通科目
		地球環境学 II	2	全学共通科目
		環境問題と科学技術	2	全学共通科目
		環境法入門	2	法学部
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目
		CONSERVATION	2	全学共通科目
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部
		HUMAN GEOGRAPHY	4	国際教養学部

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

◆専門科目（3～4年次）

科目・単位数	内容	備考
(1)リテラシー科目 (知識習得) 5科目：10単位～	<p>※必修科目：1科目 選択必修科目：2～3科目 選択科目：1～2科目</p> <p>グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びとがどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に貢献してきたかを学ぶ。</p>	5科目中、英語による科目を最低2科目必修とする。
(2)サービス・ラーニング関連科目 1～2科目：4単位～	<p>指定のサービス・ラーニング関連科目から4単位以上履修。</p> <p>なお、1・2年次ですでに履修している場合はそれも可とする。原則として、実践型プログラムを最低1科目履修する。</p>	指定プログラムは7.を参照
(3)プロジェクト科目（実践） 1科目：2単位	<p>※必修科目：1科目</p> <p>プランニングに基づき社会貢献プロジェクトを実践する</p>	

			科目名	単位	開講元
専門科目	リテラシー科目 (知識習得)	必修	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT/SERVICE LEARNING	2	グローバル教育センター
		選択必修	ANTHROPOLOGY OF JAPAN: RACE, CLASS AND GENDER	4	全学共通科目
			GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2	グローバル教育センター
			グローバル化世界と日本の市民社会	2	グローバル教育センター
		選択	社会哲学 I（2020 年度休講）	2	哲学科
			社会哲学 II（2020 年度休講）	2	哲学科
			政治哲学 I	2	哲学科
			政治哲学 II	2	哲学科
			教育学特殊講義 II-教育の思想-	2	教育学科
			異文化理解と医療保健活動	2	看護学科
			環境法総論	2	法学部
			環境法各論	2	法学部
			環境社会学	2	法学部
			LEGAL WRITING	2	法学部
			LAW AND SOCIETY	2	法学部
環境経済学	2		経済学科		

グローバル教育センターについて

科目目

グローバル・コンピテンス！プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型

2022-2023年度

		科目名	単位	開講元
専門科目	リテラシー科目（知識習得）	ENVIRONMENTAL AND NATURAL RESOURCE ECONOMICS	2	経済学科
		環境マネジメント論	2	経営学科
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 1（2020年度休講）	2	外国語学部 （英語学科）
		HISTORY OF JAPANESE IMMIGRATION 2	2	外国語学部 （英語学科）
		PSYCHOLOGY OF DISCRIMINATION（2020年度休講）	2	外国語学部 （英語学科）
		INTERCULTURAL INTERACTION 1	2	外国語学部 （英語学科）
		INTERCULTURAL INTERACTION 2	2	外国語学部 （英語学科）
		ヨーロッパ政治経済論（2020年度休講）	2	外国語学部 （ドイツ語学科）
		ヨーロッパ政治経済入門	2	外国語学部 （ドイツ語学科）
		ロシア・ユーラシア経済概論	2	外国語学部 （ロシア語学科）
		ロシア・ユーラシア経済特論	2	外国語学部 （ロシア語学科）
		ラ米現代史概論	2	外国語学部 （スペイン語学科）
		ラ米政治社会特論 A（2020年度休講）	2	外国語学部 （スペイン語学科）
		ラ米政治社会特論 B	2	外国語学部 （スペイン語学科）
		NGOと社会運動の人類学	2	総合グローバル学部
		アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部
		アフリカ社会経済論	2	総合グローバル学部
		民衆イスラーム論	2	総合グローバル学部
		イスラームとジェンダー	2	総合グローバル学部
		特講(国際機構)B	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化1	2	総合グローバル学部
		グローバル化と文化2	2	総合グローバル学部
		WOMEN AND MEN IN THE LABOR MARKET	4	国際教養学部
		RELIGION, CONFLICT AND VIOLENCE	4	国際教養学部
		NONPROFIT NGOS IN COMPARATIVE CONTEXTS	4	国際教養学部
		JAPANESE GOVERNMENT AND POLITICS	4	国際教養学部
		POLITICAL ECOLOGY	2	国際教養学部
		ENVIRONMENTAL POLITICS OF AGRICULTURE	4	国際教養学部
		SEMINAR IN POLITICAL SCIENCE	4	国際教養学部
		AGRARIAN SOCIETIES	4	国際教養学部
		NATIONALISM, CITIZENSHIP AND DEMOCRACY IN JAPAN	4	国際教養学部
		COMPARATIVE POLITICS OF ADVANCED INDUSTRIAL DEMOCRACIES	4	国際教養学部
	NATURE AND SOCIETY	4	国際教養学部	
ADVANCED READINGS IN ANTHROPOLOGY	4	国際教養学部		
POLITICAL LEADERSHIP	4	国際教養学部		
POLITICAL ECONOMY OF DEVELOPMENT	4	国際教養学部		
SOCIETY AND POLITICS	4	国際教養学部		
ANTHROPOLOGY PRACTICUM 2	4	国際教養学部		
INDIGENOUS RELIGION	4	国際教養学部		
	必修 プロジェクト科目 （実践）	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	グローバル教育センター

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

4. 「コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング」コース オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	外国語	備考
自由科目	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT / SERVICE LEARNING	2	春	* ROSSITTO Sarajeon		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30090	CMF303-02m00	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT / SERVICE LEARNING	2	秋	* ROSSITTO Sarajeon		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30100	CMF304-02m00	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2	秋	* ROSSITTO Sarajeon		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30110	CMF302-02m00	グローバル化世界と日本の市民社会	2	春	伊藤 高章		GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	春	* ROSSITTO Sarajeon		春学期集中, GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可
	GCP30120	CMF306-02m00	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2	秋	* ROSSITTO Sarajeon		秋学期集中, GCP (コミュニティ・エンゲージメント：サービス・ラーニング) 履修者のみ受講可

※オリジナル科目は卒業に必要な単位とはならない

※下記科目は同一科目のため、どちらか一方しか本コース修了に必要な単位として認められない。

科目コード	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
GCP30090	FOUNDATIONS OF COMMUNITY ENGAGEMENT / SERVICE LEARNING	2019	GCP30090	プロジェクト・プランニング
GCP30100	GLOBAL SOCIAL MOVEMENTS	2019	GCP30100	CIVIL SOCIETY, NPO AND CITIZEN POWER
GCP30120	SERVICE LEARNING CONSOLIDATION	2019	GCP30120	PRAXIS IN CIVIL SOCIETY

5. サービス・ラーニング関連科目 (科目詳細は各開講元のページを参照)

・下記の科目から4単位以上履修する。原則として、実践型プログラムを最低1科目履修する。

			科目名	単位	開講元
専門科目	サービス・ラーニング関連科目	選択	ボランティア論	2	神学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	2	国際教養学部
			HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	2	国際教養学部
			AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			インド・サービスラーニング・プログラム	4	全学共通科目
			北部タイ・サービスラーニング・プログラム	2	全学共通科目
			INDEPENDENT ACTION : HANDS ON TOKYO (2020年度休講)	2	グローバル教育センター
			国際サービスラーニング論	2	全学共通科目

※科目の名称, 内容については変わる可能性がある。

グローバル教育センターについて
科目目
グローバル・コンピテンス！プログラム
データサイエンスプログラム
海外短期研修
実践型プログラム
Sustainable Development

データサイエンスプログラム

グローバル社会で必須な素養であるデータ分析や情報を活用できる力を養うことを目的として開講するプログラム（科目群）です。全学共通科目（選択科目）として開講されます。

このプログラムは、基礎科目・応用科目からなり、経営の視点に立ったデータ活用法を体系的に学ぶことができます。所定の科目を履修した場合、プログラム履修証明を発行します。

応用科目は社会人とともに学ぶ講座です。なお、基礎科目だけの履修も可能です。

<プログラムの概要>

●基礎科目

①「データ活用と経営戦略（データサイエンス基礎）」2単位（秋学期開講）

内容：企業が直面するさまざまな経営課題を時間的・空間的に俯瞰し、課題の本質と経営戦略との関係理解を深めながら、データ活用がどのように進化し、経営に貢献しているかについて学ぶ。

②「ビジネスデータ分析理論（データサイエンス基礎）」2単位（秋学期開講）（旧「ビジネスデータ分析入門」）

内容：ビジネスデータ分析の活用事例の理解から始め、データ分析を行う上で必要となる基礎事項の理解を深めるとともに、データ分析において必要となる分析手法の基礎理論の理解を目指す。

※なお、本講義では和記号、積分記号、指数関数などある程度の数学的知識を有することを前提とするため、特に微積分（数Ⅱ）、データの分析（数Ⅰ）を履修し理解していること。統計学に関する入門レベルの科目を履修していることが望ましい。

●応用科目

③「ビジネスデータ分析実践（データサイエンス応用）」2単位（夏期集中講義）[2018年度にて終了]

内容：実際のビジネスにおけるデータ活用について、「ビジネスデータ分析入門」で学んだ内容を踏まえて実習形式で体得することを目指す。

④「プロセスマイニング実践講座」2単位（2Q開講 [夏期集中講義]

内容：IoTやAIなどのデジタル化に必要となる最先端なデータ活用技術であるプロセスマイニングを、Celonis社のアカデミッククラウド及び教材を用いて、実習方式で最先端なデータ活用を体得することを目指す。

開講時期：夏期集中講義として、2020年9月に開講予定です。

履修条件：「データ活用と経営戦略」、「ビジネスデータ分析入門」（2016年度まで開講）、「ビジネスデータ分析理論（2017年度から開講）」のうち1科目を履修し、その成績評価がB以上であること。

⑤「アナリティクスによる事業戦略（データサイエンス応用）」2単位（春学期開講）

内容：ビッグデータを活用している最先端の業界の実務担当者を講師とする、ケーススタディ型の講義科目。取扱う業界の分野例：流通・広告・アパレル・コールセンター業など（予定）

履修条件：「データ活用と経営戦略」、「ビジネスデータ分析入門（2016年度まで開講）」または「ビジネスデータ分析理論（2017年度から開講）」を履修済の学生が、優先的に履修可能。

上記①②③④⑤（③、④についてはいずれかの1科目）の4科目の履修・単位修得をもってプログラム修了とし、履修証明書を発行します。証明書発行希望者はグローバル教育センター（2号館1F）に申し出ること。

海外短期研修

※下記内容は変更、中止される可能性があります。また下記以外にも、追加で新たに実施が決定されることもあります。最新の情報についてはグローバル教育センター（2号館1階）に確認してください。

① 本学の修得単位として認定するもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)	英語	アメリカ	夏期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。 * 事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要あり。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。
アンジェ高等商業科学大学 (ESSCA)	英語	ハンガリー	春期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。 * 事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要あり。 * 2021年度春学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。 * 本学の交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる（航空運賃、宿舎費等は自己負担）。

※両プログラムとも2019年度以前に入学した国際教養学部生が単位認定された場合は認定単位数分の授業料が発生する。

② 本学の開講科目として取り扱うもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い	開講学部・学科
カリフォルニア大学デービス校	英語	アメリカ	夏期休業中	2	理工学部のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 理工共通科目Ⅰ群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。 * 2020年度春学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。 	理工学部共通
オックスフォード大学	英語	イギリス	夏期休業中	2	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 * 2020年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部
ロンドン大学 SOAS	英語	イギリス	夏期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 * 2020年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部
ビクトリア大学	英語	カナダ	夏期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 経営学科生は学科科目として算入可。 * 経営学科生以外は全学共通科目（選択科目）もしくは学科科目として算入可。 * 2020年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	経営学科
トリア大学	ドイツ語	ドイツ	夏期休業中	2	ドイツ語学科のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 外国語学部ドイツ語学科選択科目「ドイツ語Ⅲ」として算入可。 * 2020年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 * 問合せ先：ドイツ語学科事務室 	外国語学部
教皇立ハベリアナ大学	イスパニア語	コロンビア	夏期休業中	2	全学部生可（ただし、定員を超えた場合はイスパニア語学科生優先）	<ul style="list-style-type: none"> * イスパニア語学科生は学科科目として算入可。ただし、専攻外国語としてのイスパニア語科目として算入する場合は学科の指導に従うこと。 * イスパニア語学科生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として導入可。 * 2020年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部
ノースカロライナ大学シャーロット校	英語	アメリカ	春期休業中	2	理工学部のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 理工共通科目Ⅰ群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。 * 2020年度秋学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。 	理工学部共通
パリ政治学院	英語	フランス	春期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 * 2020年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部
西オーストラリア大学	英語	オーストラリア	春期休業中	4	全学部生可（ただし、定員を超えた場合は法学部生優先）	<ul style="list-style-type: none"> * 法学部生は学科科目として算入可。 * 法学部生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。 * 語学科目としては算入不可。 * 2020年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	法学部

※詳細は各開講元のページを参照すること。

グローバル教育センターについて
 科目
 インターナシッ
 グローバル・コンピ
 テンス！プログラム
 データサイエンス
 プログラム
 海外短期研修
 実践型
 SEMESTER IN
 EXCHANGE
 PROGRAM

実践型プログラム

※下記内容は変更、中止される可能性があります。最新の情報についてはグローバル教育センター（2号館1階）に確認してください。

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要
AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	夏期 休業中	4	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	イエズス会の教育の精神“Men and Women for others, with others”に基づいた人間的な成長を目指し、環境保全・地域開発をテーマに、アジア諸国の学生と共に社会貢献について考え、現地に実践するプログラム。(2020年度はタイにて実施予定)
イエズス会・東アジア5大学 グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	アジアのイエズス会大学から学生が集い、テーマに沿って学内での事前・事後指導、現地での討論等を通じてキリスト教的人間教育を理解し、グローバル社会で活躍するリーダーの育成を目指すプログラム。(2020年度は輔仁大学にて実施予定)
メコン経済回廊スタディツアー：肌で感じるASEAN共同体	夏期・ 春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * [夏期休業中実施]2020年度春学期分単位として認定。 * [春期休業中実施]2020年度秋学期分単位として認定。 * 合格した者の成績は“P”（合格）となる。	メコン地域内を繋ぐ「メコン経済回廊」のうち、南北経済回廊（夏期）あるいは南部・東部経済回廊（春期）を巡って移動し、経済特区・工業団地やインフラ視察、国際機関訪問、文化遺産訪問、国境地帯の人や物の移動の観察、大学での学生交流等を通じて同地域の経済社会発展のダイナミズムを体験的に学ぶプログラム。
北部タイ・サービスマーケティング・プログラム	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	北部タイにおいて、イエズス会が設置した教育機関等に滞在し、少数民族の村での対話やホームステイ、小学校での英語教育支援、農作業体験を通じて北部タイの課題と民族や宗教の多様性について学ぶプログラム。
インドの社会経済・ 人間開発に学ぶ：南インドの ケララを実例として	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。
国際公務員をめざして (実務型国連集中研修)	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	ニューヨーク国連本部にて、国際公務員制度や採用プロセスの説明に加え、履歴書の書き方やコンピテンシー面接などの実践的演習を行う。国連本部で研修することにより、実際の現場を身近に感じ、より現実的、効果的に学ぶことを目的とする。
アフリカに学ぶ	夏期・ 春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * [夏期休業中実施] 2020年度春学期分単位として認定。 * [春期休業中実施] 2020年度秋学期分単位として認定。 * 合格した者は“P”（合格）となる。	アフリカ諸国に渡航し、歴史と現状について理論的・実践的に学ぶプログラム。現地の教育機関で講義を受けるほか、日本大使館・JICA事務所・国際機関への訪問・プロジェクト見学や、地域の市民活動・民間企業・芸術文化施設等での実習を予定。
エストニア・スタディツアー	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	エストニアの教育施設や企業およびNGOなどの活動を見学し、現地の学生とディスカッションを行うことで、エストニア社会およびグローバル社会におけるICT導入や若者の起業家精神などの革新的取り組みと工夫を学び、持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。
ジュネーブ国際機関 集中研修プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国際機関本部が集中しているスイス・ジュネーブに滞在し、関係機関の職員から直接受ける講義や質疑応答を通して各国際機関の役割や活動を学ぶとともに、世界が直面する様々な課題について理解を深める。
Learning from the insiders: a field study course on the sustainability of rural society	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	This course focuses on the issue of the sustainability of rural society. Through the example of wine tourism, we discuss and consider how culinary and agricultural tourism can be a viable strategy and contributor to a rural community's revitalization.

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要
インド・サービスマンシップ・プログラム	春期 休業中	4	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し、インドの歴史や文化、宗教を学ぶとともに、マザーテレサが設立した「神の愛の宣教師会」諸施設で、ボランティア活動を行う国際サービスマンシップ・プログラム。
国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国連の役割と機能に関する理解を深めるために、実際に国連の活動に従事している職員達からニューヨーク国連本部で講義を受ける。その講義を通じて国連の理論と実践をより深く研究する。
ミャンマー・スタディーツアー	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	近年、急速な民主化と経済改革が進むミャンマーを訪れ、主に教育開発を中心に、各国政府（日本・韓国）、国際機関・上智の設立母体であるイエズス会等がそれぞれミャンマー国内で展開する活動について学ぶ。
バンコク国際機関実地研修	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2020年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	多くの国際機関が集中するバンコクにて、それらのアジア太平洋地域統括本部を訪問し、国際機関の活動に関する現地職員による講義やフィールド研修を通じて、アジア太平洋地域が直面する「持続可能な開発目標(SDGs)」に関わる様々な課題について理解を深める。

※2019年度以前に入学した国際教養学部¹の学生が参加する際には、付与単位数分の授業料がかかる。

グローバル教育センターについて

科目 インターナショナルシップ

目 グローバル・コンピテンス！プログラム

データサイエンスプログラム

海外短期研修

実践型プログラム

GLOBAL EDUCATION CENTER

< Sophia AIMS (SAIMS) プログラム科目 >

「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、ASEANの学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラムです。自らASEAN諸国へ留学すること、ASEANから本学で受け入れている学生との交流を通じて、国際的な視野を持った人材育成を目指しています。SAIMSプログラム参加者には、以下の科目の履修を強く推奨します。

※下記の科目はプログラムに参加しない学生でも受講は可能で、授業言語はすべて英語で行う。(語学スコア等の提出は求めないがTOEFL79 (iBT) 相当の英語力が必要。ただし、「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1」「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2」はスコアの提出が必要。)

※担当教員等の詳細は各開講元のページを、単位の取り扱いについては所属学科のページを参照すること。「HUMAN ECOLOGY : RIVERS 1」「HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2」の詳細については、国際教養学部の「BULLETIN OF INFORMATION」を参照すること。また、SAIMSプログラム自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター(2号館1F)に問い合わせること。

科目名	開講学期	開講元
CONSERVATION	2Q・4Q	全学共通科目
ENVIRONMENTAL SCIENCE	1Q・3Q	全学共通科目
HUMAN ECOLOGY: RIVERS 1	春(夏期実習あり)	国際教養学部
HUMAN ECOLOGY: RIVERS 2	春(夏期実習あり)	国際教養学部
SUSTAINABLE DEVELOPMENT	1Q・3Q	全学共通科目

< Sophia-Nanzan Latin America Program(LAP)科目 >

LAPは2015～2019年度に文部科学省「大学の世界展開力強化事業(中南米)」採択プログラムとして運営してきました。2019年度で補助事業は終了しましたが、LAPの枠組みで実施した主要な科目は2020年度以降も持続可能な範囲で継続して開講します。LAPで開講する以下の科目は、中南米をはじめとする海外からの留学生と共に学ぶことや国内外での多文化体験を通じて、多角的な視野で問題解決に向けて協働できる力を養うというLAPの目標にあった学修成果を目指します。

※担当者等の詳細は()内の各開講元のページを、単位の取り扱いについては所属学科のページを参照すること。またLAP自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター(2号館1F)に問い合わせること。

科目名	開講学期
教皇立ハベリアナ大学 短期研修(外国語学部)	春(夏期休業中)
JAPANESE POP CULTURE(全学共通科目)※2020年度休講	秋

(注)以下の3演習は、LAP参加学生に強く履修が推奨される。また、履修年次は3・4年次となっているが、LAP卒で3年次春に留学を開始する者は、2年次に受講することが可能である。

科目名	開講学期(開講元)
「日本・ラテンアメリカ比較文学」	春(イスパニア語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)1」	春(ポルトガル語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)2」	秋(ポルトガル語学科)

SUMMER SESSION IN EAST ASIAN STUDIES AND JAPANESE LANGUAGE

1961年に始まり50年以上の歴史を持つ上智大学のSummer Session in East Asian Studies and Japanese Languageは、海外の大学生等を対象とした3週間の短期プログラムです。日本及びアジアの社会、政治、経済、芸術、言語に関わる講義や日本語を学ぶコースを英語で開講することにより、受講者に日本及びアジアの視点から今日の世界を考察してもらうことを目的としています。これまでに世界中の国々から累積で10,000人以上が参加している歴史あるプログラムです。

本学の学生も履修が可能ですが、通常の学期中に毎日授業が行われるプログラムのため、他の科目の履修と重複しないよう十分注意が必要です。

1. 開講期間と科目

2020年度はSession1のみ開講します。

Session 1 2020年6月14日から7月2日まで

科目コード	科目名	単位
IBZ436	DEVELOPMENT ISSUES: ASIA AND THE WORLD	2
HSZ331	HISTORY OF MODERN JAPAN: FROM EDO TO TOKYO	2
ARZ331	JAPANESE ART (A): PREHISTORIC TO 12TH CENTURY (FOCUS ON BUDDHIST ART)	2
IBZ200	JAPANESE BUSINESS AND ECONOMY	2
LIZ334	JAPANESE LITERATURE AND THE CITY	2
SOZ330	JAPANESE POPULAR CULTURE	2
SOZ480	CONTEMPORARY JAPANESE SOCIETY	2
SOZ490	CONTEMPORARY KOREAN SOCIETY	2

2. 履修時の注意点

- ・履修登録期間は5月25日（月）～5月29日（金）です。通常の履修登録期間と異なります。
- ・4月中旬、上記科目のうち、履修登録ができる科目を掲示します。詳細はLoyolaの「グローバル教育センター」掲示板に掲載される「履修申込要項」を確認してください。
- ・各科目には受入定員があります。希望者が多い場合には抽選となります。
- ・講義は全て英語で行われるため、下記いずれかの外国語要件を満たす必要があります。

TOEFL/PBT: 550, TOEFL/iBT: 79, IELTS: 6.0